

感染症発生動向調査事業に基づく病原体検索および分析に検体を提供された方へ

当所では、感染症発生動向調査事業に基づき、病原体の検索および分析を行っています。提供された検体の検査結果から得られた病原体情報は、感染症法の届出基準に基づき報告され、報告数は国立感染症研究所感染症情報センターのインターネットホームページに公開され、広くご覧いただけます。

大阪府内（堺市および一部の中核市を除く）の医療機関で、感染症法に規定された、1類から5類に分類される疾患の疑いがあると診断された方の検体は、地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所に送られ、各疾患関連の検査が実施されています。

本事業でご提供いただきました検体や情報及び分離した菌株・ウイルス株につきましては、検査終了後、研究目的で利用させていただくことがあります。これらの研究は当所倫理審査委員会の承認を受けており、ご提供いただきました検体や分離菌株・ウイルス株の情報は匿名化処理を行い、ご提供者の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

研究題目		呼吸器疾患関連ウイルスの高感度かつ迅速な検出技術の開発(2012-02-4)
1.	研究概要	RSウイルス感染症については平成30年4月1日から令和9年1月31日の間に、新型コロナウイルス感染症については令和2年2月1日から令和9年1月31日に搬入された患者の喀痰、咽頭ぬぐい液、鼻咽頭ぬぐい液、唾液のいずれかの残余分を使用して、RSウイルス・新型コロナウイルスのゲノム解析を行い、迅速かつ高感度診断技術の開発、評価をします。
2.	外部への試料・情報の提供	共同研究機関へは、試料・情報は提供されません。
3.	研究期間	令和6年10月2日～令和9年3月31日
4.	研究に用いる試料・情報の種類	試料：喀痰、咽頭ぬぐい液、鼻咽頭ぬぐい液、唾液 情報：性別、年齢、症状、発症日、ワクチン接種の有無、周囲での発生状況に関する情報
5.	研究責任者	公衆衛生部 部長 本村和嗣
6.	共同研究機関	静岡大学 朴 龍洙

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、支障がない範囲内で、倫理審査申請書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、検体・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究対象者の方に不利益が生じることはありません。ただし、中止を希望されたとき、すでに研究結果が公表されていた場合は、結果を破棄することができない場合がありますのでご了承ください。

「お問い合わせ先」

大阪健康安全基盤研究所

研究企画課

電話番号：06-6972-1321

ファクス番号：06-6972-2393